「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集：FXニュースレター　　執筆担当：斎藤登美夫

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

◇◆◇　No.0421　◇◆◇　　17/02/22

【　過去の発言から「ドル高シーリング」を考える　】

ドル/円相場の先行きを見通すうえで、「日米金利差」というものがたびたび取り沙汰される。もちろん金利差は無視できない非常に重要な要因なのだが、あまり過信しすぎるのも禁物だと思う。何故なら、1990 年代半ばには日米金利差が最大で 7-8%までドル有利へと拡大したにもかかわらず、むしろ為替市場では大幅なドル安・円高が進行したという実績があるからだ。
これは何故かといえば、当時は為替市場が政治要因に左右される展開となっていたためで、日米要人の発言などに過敏に反応していたことによる。翻り、最近の為替市場はトランプ発言などもあり、再び政策の具と化してきた感を否めない。そこで以下では、具体的なレベルを挙げて言及した過去の日本の要人発言から「ドル高シーリング」、ドルの高値・天井レベルについて考えてみたい。

＜＜　浜田内閣官房参与「120 円前後」　＞＞
2015 年 4 月 13 日、ドル/円相場が 120 円前後で推移するなか、安倍政権の政策ブレーンである浜田内閣官房参与は、「購買力平価からすると 120 円はかなり円安」「1 ドル＝105 円ぐらいが妥当」と発言、さらに翌 14 日には「円安は徐々に限界に近づいている」「1 ドル＝125、130 円と思っている人は注意が必要」ーーなどとコメントし物議を醸した。
一連の発言からすると、「浜田シーリング」は 1 ドル＝120 円前後であり、もう少し言えば 1 ドル＝120 円は黄信号、125 円以上は赤信号と言えるかも知れない。

＜＜　黒田日銀総裁「125 円前後」　＞＞
先の浜田発言に遅れること 2 ヵ月、2015 年 6 月 10 日に黒田日銀総裁が「ここからさらに実効レートが円安に振れることはありそうにない」と発言しドルが急落に転じたことは、まだ記憶に新しい。この発言が聞かれたのが 1 ドル＝124.50-60 円のときであり、数日前の 6 月 5 日にドルは 125.86 円という、ある種のヒストリカル・ハイを記録していた。
なお、この発言を受け、翌日の朝刊紙などでは、「黒田シーリング」と大きく取り上げられ、ドル円は 125 円レベルが本邦通貨当局の許容上限ではないかと意識されるようになる。

＜＜　麻生財務相「120 円台」　＞＞
今年の 2 月 15 日、衆院財務金融委員会で麻生財務相は、「ドル/円相場はまだ 120 円にいっていない。円安といわれる覚えはない」と発言した。
この発言が思惑を呼んだのは、内容的なものもさることながら、そのタイミングだ。米財務長官に就任したばかりのムニューチン氏と翌 16 日に電話会談を行ったことで、様々な憶測が取り沙汰されている。日本の財務省の発表によると、会談は約 5 分間、麻生氏がムニューチン氏の財務省官正式就任に祝意を表明したほか、幾つかの話もしたものの、為替政策などに関する話題は出なかったという。しかし、絶妙のタイミングということで、マーケットの一部では両氏の会談において、「1 ドル＝120 円」が暗黙の公約になった、などという疑心暗鬼が広がっているようだ。

＜＜　参考；ベンツェン米財務長官「113-114 円」　＞＞
かつて、自動車を中心とした日米貿易摩擦が本格化していた 1993 年 1 月、クリントン政権下で米財務長官に就任したベンツェン氏は、貿易不均衡是正を目的として、マーケットで大きな波紋を呼ぶ「ドル/円相場の 113.60 円が天井」と示唆する発言を行っている。
これをキッカケに、1995 年 4 月の 79.75 円（当時の戦後最安値）まで、ドル安・円高が進行することになるのだが、様々なトランプ米大統領の発言などを考慮すると、先でも指摘したように日米貿易問題をめぐる状況は当時と非常に似通っている。今後為替市場においても1990年代のような「円安けん制」が強まる可能性を懸念する声も依然として根強い。（了）

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

◆◇◆　Copyright　(C)　fx-newsletter limited　company All Rights Reserved　◆◇◆